

小倉駅新幹線口1F公共トイレ



トイレ入口

JR小倉駅新幹線口1Fに、官民が一体となって改修された観光トイレ。大きなサインを掲示、英文表記で訪日外国人にも配慮した。利用時間を設定し、夜間は入口のシャッターを閉めることで、防犯対策を図っている。



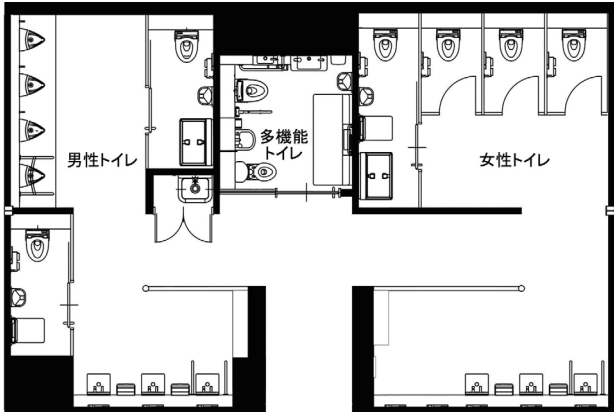
女性トイレ 洗面コーナー

ガラスブロックから自然光を採りこむ明るい空間。衛生性に配慮し、非接触で衛生的な自動水栓とオートソープが備わった壁掛ハイバック洗面を採用。男女トイレ共にスタイリングコーナーを設置している。

女性トイレ
大便器コーナー

壁やライニングと器具の色にコントラストをつけて各器具の視認性を高めている。男女トイレ共にひろびろブースを設置し、近隣のスポーツ観戦施設やイベント利用者の着替えやお子様連れに配慮している。

図面



水まわりの特長

改修の経緯

北九州市は、小倉都心部の魅力を高め、集客活性化を図るため、北九州200万都市圏の中核に相応しい高次な都市機能の充実と、都心部の賑わいづくりを目的に、小倉都心地区都市再生計画を推進。2020（令和2）年春、リニューアルされた九州の玄関口である「小倉駅新幹線口1F公共トイレ」はその一環である。近年、小倉駅北口周辺は、2016（平成28）年オープンした北九州スタジアムやポップカルチャーの魅力を世界に発信するアミューズメント施設などにより、さらなる賑わいが創出されているなか、当トイレは、それに伴い多様化する利用者ニーズに応える、快適性と衛生性を兼ね備えた高機能な観光トイレへと生まれ変わった。

トイレの特長

訪日外国人や観光客に配慮し、大便器は和式便器からすべて洋式化。清掃性のよい壁掛式の大便器に「きれい除菌水」機能を備えたウォシュレットアプリコットPを設置し、維持管理しやすい「きれいが続く空間」へと整備された。さらに、男女トイレともにひろびろブースを設置し、周辺のスポーツ施設やイベント参加者の着替え、お子様連れの利用などに配慮した広さと設備が整えられている。多機能トイレは、限られた空間を有効活用するコンパクト多機能トイレパックと幼児用大便器などを設置し、車いす使用者、オストメイト、お子様連れまで安心してご利用いただける空間となった。当トイレは、公衆性が高いことから防犯面に配慮して利用時間を設定。夜間はシャッターを閉めるなどの管理が徹底されている。

建築概要

名称	小倉駅新幹線口1F公共トイレ
所在地	福岡県北九州市小倉北区浅野1-1
施主	北九州市役所
設計	建築 株式会社西部交通建築事務所 機械 株式会社樽見設備設計
施工	建築 有限会社フジキ技建 設備 鉄王管工有限会社
竣工年月	（改修）2020年3月
敷地面積	475㎡
建築面積	67㎡
延床面積	67㎡
構造・階数	鉄骨造・地上1階
おもなTOTO使用機器	
壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CSN ウォシュレットアプリコットP（温風乾燥付きエコリモコン）:TCF5840AUPR 棚付二連紙巻器:YH701／マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU21A ハイドロセラ・フロアPU:AB690E／壁掛ハイバック洗面器:LS125 クリーンドライ（ハンドドライヤー）:TYC320W コンパクト多機能トイレパック:UADAK21R1A1ADD2WA 収納式多目的シート:EWC520ARR／幼児用大便器:CS300B+S300BK ベビーチェア:YKA15R／ベビーシート:YKA25R／フィッティングボード:YKA41	

女性トイレ
大便器ブース

清掃性のよい壁掛式大便器に「きれい除菌水」機能を備えたウォシュレットアプリコットPを設置し、衛生的な空間を実現。大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。

女性トイレ
ひろびろブース

男女トイレともに、乳幼児連れ配慮として広めのブースを設置。ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードを設置している。



男性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーには自動水栓とオートソープを完備。洗面器の間にクリーンドライを設置することで床への水垂れを抑え、きれいな状態を維持し、維持管理しやすい環境を整えている。

男性トイレ
小便器コーナー

シンプルなデザインで、清掃性にも優れたマイクロ波センサー壁掛小便器セットを設置。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減する、ハイドロセラ・フロアを採用している。



男性トイレ 大便器ブース



男性トイレにはひろびろブースを左右勝手違いで2ヶ所設置。乳幼児連れへの充実した配慮としてベビーシート、フィッティングボードを分散して採用している。



多機能トイレ

多機能トイレには、車いす使用者やオストメイトに加え、お子様連れ配慮として幼児用大便器を設置。男性・女性・多機能トイレ、それぞれにお子様連れ配慮を完備し、機能分散を図っている。